

P36 漢字の形と音・意味

問 共通するところを○で囲みましょう。

我々の要求が認められた。

共通する部分は何？

プロ野球のリーグ戦が始まる。

共通する読み方は？

けが人は無事に救助された。

課 同じ部分を持ち、同じ音の漢字を見つけよう。

□ 次の各文の□に当てはまる漢字を()から選びましょう。

どの部分が共通でどんな読み方をしているでしょう。

① (化・貨・サ化) 読み方 ()

文 □ を伝承する。

校庭の桜が開 □ した。

蒸気機関車が □ □ 物列車を引っ張る。

② (静・清・晴・青) 読み方

- ・ 細心の注意をはらって、手紙を 書する。
- ・ 冷 な判断で、物事に対処する。
- ・ あの 年は、銀行に就職した。
- ・ 天なので、洗濯物を干す。

③ (則・側・測) 読み方

- ・ 地層の年代を 定する。
- ・ 規 正しい生活をする。
- ・ 箱の 面に名前を書く。

☆自分で問題を作ってみよう。(辞書を使ってモ良い)

読み方

※苦手な子は二問でも良い

イ(ぎょうにんばん)

↓「行く」や「道」などの意味を表す漢字に使われる

問

□ □ の中に「イ」の付く漢字を書きましよう。

所と駅の間を、□ □ 歩で □ □ する。(ヒント△ おうふう)

母は恩人を招 □ □ し、□ □ 意料理をふるまった。

裁判官は法 □ □ にもとづいて判断する。

課 同じ部分をもつ漢字で、共通する意味をもつものを

見つけよう。

月(にくづき)

↓元は「肉」で、体に関する漢字に使われる

「にくづき」↓腹・臓・脳

「つきへん」↓服・朝・期



注意

② 次の部分をもつ漢字を集め、部分が表す意味を考え
漢字辞典で確かめましょう。 (三字以上)

① 一 (うかんむり)
漢字 (安)
意味 ()

② 扌 (てへん)
漢字 (打)
意味 ()

③ 小 (リョウシヤウ)
漢字 ()
意味 ()

④ リ (リョウ)
漢字 ()
意味 ()

※ 国語辞典にのっているものであればです。

P58 話し言葉と書き言葉

どんな違いがあるか考えてみましょう。

① 食材にはこだわっていて、野菜も卵も地元産なんですよ。
 あ、牛乳もだ。これは、愛用のフライパン。店を始めたときから十年間、使っているよ。

⇓
 ② 食材は、野菜も卵も牛乳も地元産を使っている。フライパンは、創業以来十年間、愛用している。

課

話し言葉と書き言葉にはどのようなちがいがあるか考えよう。

話し言葉

気持ち

声の出し方で気持ちを伝えることができる。

まちがい

すぐ直せる。

書き言葉

伝えるにくい

文字は残ってしまう

伝え方

相手に応じて選ぶ

(敬言・方言・共通語)

語順が整ってなくても伝わる

語順や構成を修正する
誤解を与えないように
主語を明らかにし、誤字が
ないようにする

共通・・・伝える内容は同じ！

☐友達への手紙やメールなどでは、話し言葉をそのまま文字にして伝えることがあります。話し言葉と書き言葉の特徴をふまえて考えましょう。

・どんな特徴があるか。

・気をつけることは何か。

⑤

それぞれの特徴を理解したうえで適切な言葉を使うことが大切。

／ P60 たのしみは

課 表現を工夫して短歌を作ろう。

○たのしみはどんな時ですか。

例・友達と一緒にサッカーをする時



☆橘たちばな曙あけみ覧

(江戸時代の歌人) ※P61の短歌を参考にする

○短歌のきまり「五・七・五・七・七」の三十一音

小「な」つ「や」のばす音、「ん」も一音と教える

〈例〉しよきき (三音) おとうさん (五音)

○表現の工夫

- ・音や様子を表す言葉を入れる。
- ・たとえへ比^ひ喩^ゆを使う。
- ・順序を入れ替える。

○どちらがより「たのしみ」が強く伝わってくるか考えよう。

題材の例

- ・今朝、起きてからのこと
- ・家の人や友達のこと
- ・季節のこと
- ・しゃべること

① たのしみは夜空の中に弟と知ってる星座探し出す時

② たのしみは夜空を見上げ弟と知ってる星座見つけ合う時

想像しやすい

二人で楽しんでる様子

○「たのしみ」がよりよく伝わるように短歌を作ってみましょう。

たのしみは

⑤

⑦

⑦

時

P64 文の組み立て

○五枚のカードを並べかえて、意味の通る文を作ろう。

木を

庭に

ぼくは

植えた

昨日

※「植えた」のような述語に当たる言葉は、ふつう文末に置く。

何がは「誰がは」に当たる

どうする「どんなだ」「何だ」に当たる

○文の中の主語と述語の関係

一つの文の中に、主語と述語が二つ以上出てくる場合もある。

主語

① 枝が

述語

のび、

主語

葉が

述語

しげる。

短い文に分けることでわかりやすくなる

主語

② ぼくが

述語

植えた

主語

木が

述語

育った。

ぼくが木を植えた。

その木が育った。

修飾

① 言葉の順序や主語と述語の関係に気をつけて文を
読んだり書いたりしよう。

② 主語と述語の関係を見つけてみましょう。

券売機が故障したうえに、電車がおくれた。⑤ニ②③ニ②

立派な警官。察署が完成し、住民は喜んだ。⑤ニ②③ニ②

祖父が通う銭湯が県庁の近くに移転した。⑤ニ②③ニ②

② 次の文を二つの文に分けて書き直し、同じ内容を表してみよう。
姉がくれたカップはとてもかわいい。

有名な作家が訳した外国の童話を読んだ山田さんが感想を述べる。